**《Lesson 2》 接続詞**
今回学ぶのは「接続詞」についてです。

**接続詞とは、and のように「単語と単語」や「文と文」をつなげる単語**

です。今回は、6つの接続詞と、それらの基本の形を学んでいきます。

**【接続詞が使われる基本の形】
文1　＋　\*( , )　＋　接続詞　＋　文2**\*接続詞によってカンマ（ , ) が入る場合、入らない場合がある。

**【今回学ぶ接続詞】**
**(1) and ＝ そして / ～で**

**文1, and 文2 → 文1 そして 文2   ＜通常 and の前にカンマ（,）を打つ＞**

＜例＞
　 She likes soccer**,** **and** I like baseball. ＜彼女はサッカーが好きです。**そして**、私は野球が好きです＞
　 I am 10 years old**,** **and** he is 15 years old. ＜私は10歳**で**、彼は15歳です＞

and は「文と文」だけでなく「単語と単語」「フレーズとフレーズ」をつなげることもできる。この際、カンマ（ , ）は不要。

**【単語と単語をつなぐ形：例】**I like soccer and baseball. ＜私はサッカーと野球が好きです＞

**【フレーズとフレーズをつなぐ形：例】**

He plays the piano and likes American music. ＜彼はピアノを弾き、アメリカの音楽が好きです＞

I need to \*eat breakfast and \*leave here at 8:00. ＜私は朝食を食べ、ここを8時に出発する必要があります＞
\* need to eat breakfast と need to leave here at 8:00 という意味になる

**(2) but ＝ ～だが / しかし / けれど**

**文1, but 文2 → 文1 だが 文2    ＜通常 but の前にカンマ（,）を打つ＞**

＜例＞ 　I am tired**,** **but** I need to work today.  ＜私は疲れています**が**、私は今日働く必要があります＞
He has a computer**,** **but** it is very old.  ＜彼はパソコンを持っています。**しかし**、とても古いです＞

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
but で文と文をつなぐ場合、「前の文」と「後の文」で**主語やbe動詞などが同じ**場合、**後の文で共通する部分を省略することができる**。（この際、but の前のカンマは省略されることもある）

＜例＞
She is smart, but **doesn't** like to study.   ＜彼女は賢いです**が**、勉強するのは好きではないです＞
（2文目で、主語 she が省略されている）

I am a teacher, but **not** an English teacher.  ＜私は先生です。**しかし、**英語の先生ではないです＞
（2文目で、主語 I と be動詞 が省略されている）
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**(3) because ＝ なぜなら**

**文1 because 文2 → 文1 なぜなら 文2    ＜カンマ（,）は不要＞**

＜例＞  She wants to come to Japan **because** she likes Japanese culture.

＜彼女は日本に来たいと思っています。**なぜなら、**彼女は日本の文化が好きだからです＞

He eats this every day **because** he likes it.

＜彼は毎日これを食べます。**なぜなら、**彼はそれが好きだからです＞

**(4) so ＝ だから / ～ので**

**文1, so 文2 → 文1 だから 文2    ＜通常 so の前にカンマ（,）を打つ＞**

＜例＞ She needs money**, so** she works every day.

＜彼女はお金が必要です。**だから、**彼女は毎日働きます＞

I don't like fish**, so** I don't eat \*sushi.     （\*sushi ＝お寿司）

＜私は魚が好きではない**ので、**私はお寿司を食べません＞

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

**【ポイント！】**
　but / so / because といった接続詞で文章を始めるケースがよく見られますが、あれは**エッセイなどのライティング（書き英語）では、あまり使われない形**で、「間違い」と考えるネイティブも多くいます。ただし「会話文」や「質問の答え」などでは使われるケースもあります。

＜例＞ I am tired. **But** I need to work today. ＝△     He eats this every day. **Because** he likes it. ＝△
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

**(5) before ＝ ～の前に**

**文1 before 文2 → 文2 の前に 文1    ＜日本語に訳す際、文1と文2が入れ替わるので注意＞**

＜例＞ 　She wants to finish her homework **before** she goes home.

＜彼女は家に帰る**前に**、彼女は宿題を終わらせたいと思っています＞

Does he run **before** he eats breakfast?   ＜彼は朝食を食べる**前**に走るのですか＞

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
before は**『前置詞』としても使うこともできる**ため「before ＋ 文」でなく「**before ＋ 語句**」も可能。

＜例＞
He wants to finish this **before** dinner.    ＜彼は夕飯の**前**に、これを終わらせたいと思っています＞
I need to leave here **before** six o'clock. ＜私は6時**前**にここを出発する必要があります＞
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**(6) after ＝ ～の後で / ～の後に**

**文1 after 文2 → 文2 の後で 文1    ＜日本語に訳す際、文1と文2が入れ替わるので注意＞**

＜例＞ She wants to start this **after** she finishes her homework.

＜彼女は宿題を終わらせた**後で、**これを始めたいと思っています＞

Does she eat breakfast **after** her son goes to school?

＜彼女の息子が学校に行った**後で、**彼女は朝食を食べるのですか＞

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
after は**『前置詞』としても使うこともできる**ため「after ＋ 文」でなく「**after ＋ 語句**」も可能。

＜例＞
He wants to finish this **after** lunch.    　＜彼は昼食**後**に、これを終わらせたいと思っています＞
I need to talk with him **after** this class. ＜私は、この授業の**後**に彼と話す必要があります＞
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。